

留学生のための日本語スピーチコンテスト「かたろうにっぽん」報告

～名古屋栄ライオンズクラブ結成15周年記念事業～

松浦 まち子

主催：名古屋大学留学生センター
共催：名古屋栄ライオンズクラブ
協力：名古屋大学異文化交流サークル ACE

ザーとともに練習を重ね、コンテスト当日は素晴らしいスピーチを披露してくれた。

以下は、実施内容である（敬称略）。

1. はじめに

名古屋栄ライオンズクラブと名古屋大学留学生センターとの関わりは、1994年秋に「留学生家族のための日本語コース」に支援していただいたのが始まりである。その恩恵を受けた留学生家族は、現在までに延べ人数にして1,300名を越えた。さらに、名古屋栄ライオンズクラブからは結成10周年記念事業として名古屋大学中央図書館に200万円相当の留学生用図書を送贈いただき、それを機会に、図書館3階には「留学生コーナー」が設置された。その贈呈式でNUFSA（名古屋大学留学生会）会長がお礼を述べたことは記憶に新しい。

2007年秋、結成15周年記念事業の相談があり、留学生の日本語スピーチコンテストを学生主導で行うことの提案があった。留学生センターは全学の留学生を対象に日本語教育を開講しているが、これまで日本語スピーチコンテストを開催したことはなかった。検討した結果、留学生センターが主催することとし、それ以来、留学生センター教員、ACE（異文化交流サークル）、ライオンズクラブ会員が実行委員として、初めてのスピーチコンテスト開催に向けて連携しながら準備を進めることになった。

2. スピーチコンテストの概要

日本語スピーチコンテストは、「日本と私」をテーマとし、「かたろうにっぽん」のキャッチフレーズで出場者を募集したところ25名の応募があった。12月上旬に面接を行い、最終的に6名の出場者が決まった。その後、約1ヵ月かけて出場者は日本人学生のアドバイ

- 実施日時：2009年1月10日（土）13:00-17:10（懇親会を含む）
- 実施場所：名古屋大学 IB 電子情報館大講義室（コンテスト）及び同012講義室（懇親会）
- 参加者数：81名（学生38名、教職員12名、一般13名、LC 会員18名）
- 司会：ACE（英悠輝、須藤晴菜）
- 審査員：ECIS（石田幸男、石崎俊子、李澤熊）、名古屋栄 LC（後藤淳）、ACE（川合めぐみ）
- 実行委員：ACE（鈴木賀央里、平田光希）、名古屋栄 LC（岩田有司、青木孝旨）、ECIS（石崎俊子、松浦まち子）
- 受賞者：各受賞者には名古屋栄ライオンズクラブから賞金が授与された
 - ・最優秀賞（賞金5万円）：
祝世潔（中国）「約束」（1年コース）
 - ・優秀賞（3万円）：
孫利偉（中国）「平和への想い」（教育発達科学研究科 M1）
 - ・入賞（2万円）：
ウミリデニブ アリシェル（ウズベキスタン）
「大切な安全社会」（法学研究科 M2）
 - ・健闘賞（各5千円）：
朴在恩（韓国）「ラーメンとバイキング」（国際言語文化研究科）
ベツワル デヴェンドル（ネパール）「私、日本人」（工学部）
李岩（中国）「縁を切らない」（国際言語文化研究科）
- 当日のスケジュール
 - 1) 開会式

- ・名古屋大学留学生センター 石田センター長 挨拶
- ・名古屋栄ライオンズクラブ 小島定美会長 挨拶
- ・審査員紹介
- ・名古屋大学の留学生の説明
- ・スピーチコンテストの流れ説明
- ・アトラクション紹介
- ・ゲストスピーカースピーチ 権聖美（家族のための日本語コース受講生）
- 2) スピーチコンテスト
 - ・6名の留学生によるスピーチ（一人5分、その後、審査員からの質問に答える）
- 3) 会場投票と休憩
- 4) アトラクション（フォルクローレによる演奏）
- 5) 表彰式（審査結果発表、表彰、講評）
 - ・表彰状は石田センター長から手渡し
 - ・賞金は名古屋栄ライオンズクラブ結成15周年記念大会委員長（後藤淳氏）から手渡し
 - ・石崎俊子先生から講評
- 6) 閉会式 ACE 実行委員鈴木賀央里 挨拶
- 7) 懇親会

3. 来場者へのアンケートより感想や意見(順不同)

〈全体について〉

- ・とても素晴らしいスピーチコンテストの開催ありがとうございました。留学生たちのスピーチから多くの発見があり、大変勉強になりました。
- ・日本の中で日々精一杯生活している留学生の方々に日本の素晴らしさを反対に教えていただきました。ありがとうございました。
- ・日本人にはない視点でのスピーチ内容に興味深かったです。もっと名大在學生に宣伝して多くの聴衆が集まるといいなと思いました。
- ・スピーチコンテストの参加者から素晴らしいスピーチを聞かせていただきどうもありがとうございました。来年また続けてほしいです。
- ・少し客観的に日本を見ることができました。ありがとうございました。フォルクローレ同好会の音楽、とても良かったです。
- ・非常に勉強になりました。日本語という複雑な言語体系をもった言葉を短期間に習得された努力と能力に感動しました。
- ・全員のスピーチが素晴らしかった。日本語も上手ですが、内容も深く考えさせられるものが多かったです。日本人学生が多くかかわっていることもとても良いコンテストだと思います。
- ・率直な留学生の意見を聞く機会はありませんので継続してぜひ開催していただきたい。

〈スピーチコンテストについて〉

- ・各学生のスピーチのテーマに個性があり楽しく聞くことができました。戦争の話など、日本人でも知らないことでした。安全性についてのスピーチ、縁を切らない話など、改めて気づくことが多く有意義な内容だったと思います。祝さんのスピーチの日本語の話し方は、イントネーション、発音は抜群でした。
- ・みなさんそれぞれとてもよかったです。私たちが気がつかないことも知らせてもらったところも多いです。
- ・孫さん、涙が出てしまったほど感激しました。みなさん、日本人の若い人以上に日本に興味を持ち感激でした。日本人の学生、若者にぜひ聞いてもらいたかったと思います。
- ・皆さん、とても流暢な日本語で堂々と話されたのに感動しました。発音やイントネーション等も日本人と変わらない程上手な方もあり、どうやって日本語の発音を勉強されたのかとても興味があります。
- ・全員、甲乙つけがたい話し方、素晴らしい内容でした。投票用紙に1名だけ○を付けるのは大変難しかったです。今後もまたこのような催しができればよいと思います。
- ・皆さん優秀な学生ばかりで素晴らしかったが、コンテストの評価を聞き取りやすい明瞭な日本語をよしとするのか、内容に重きを置くのか、判断が難しい。内容的にはもっと深めてほしい。
- ・日本人にも難しいような質問にも的確に答えていらして本当にびっくりしました。
- ・留学生のみなさんのスピーチ内容も話し方もレベルが高く大変驚かされた。学内関係者だけでなく一般の（特に地域の）人々にも来ていただければより良いと思う。

4. おわりに

初めての手作りのスピーチコンテストであったが、聴きに来て下さった方々の多くが懇親会にも参加され留学生たちとの交流を楽しんでくださった。実行委員の一人として会場が広すぎたかという反省はあるもの

の、無事に終わったことに安堵している。何よりの収穫は日頃の相談業務の中ではなかなか聞けないいわゆる留学生の本音に触れたことであり、もう一つは、日本語という外国語を堂々と話す留学生の姿が日本人学生にとって学びのよい刺激になったのではないかという点である。



最優秀賞を受賞した祝世潔さん



スピーチコンテストに出場した留学生たち